

# 連動研修を予定するサブスペシャリティ 領域について

## 【対象】

- ・日本専門医機構が暫定的に認定をした23領域
- ・日本専門医・評価認定機構(日本専門医機構の前身)の社員であった学会、及び入会希望があった学会
- ・日本専門医機構HP上での調査実施についての告知に対して、連絡があった学会

## 【方法】

- ・上記の計102学会を対象に調査を行い、94の学会より回答を得た
- ・1つの学会で複数の専門医制度を持つ場合は、それぞれの制度について回答を得た
- ・レビューシートは郵送で各学会の専門医制度委員会宛てに送付し、インターネットの上の回答フォーマットに入力を行う形で回答を得た
- ・回答は、日本専門医機構事務局において集計を行い、後述の審査基準を基に、日本専門医機構サブスペシャルティ領域検討委員会の構成員(委員長除く)により審査を行った。  
(構成員の内訳:外科1名、整形外科1名、内科1名、救急科1名、小児科1名、精神科1名)

# レビューシート作成の方法（2）

## 【調査項目】

1. 専門医像と社会的使命	1)	社会的使命
	2)	対象となる患者像とその推定数
	3)	専門医の素養と必要な知識、実施可能となる手技
	4)	現状で該当する社会的役割の有無
2. 基本領域の承認	1)	最も医師数の多い基本領域の医師数割合（%）と承認の有無
	2)	2番目に医師数の多い基本領域の医師数割合（%）と承認の有無
	3)	3番目に医師数の多い基本領域の医師数割合（%）と承認の有無
3. サブスペシャルティ領域としての認知	1)-a	常勤医による診療科・部門あり・大学病院本院(50%以上が目標) 何%かを記載
	1)-b	常勤医による診療科・部門あり・臨床研修病院(25%以上が目標) 何%かを記載
	2)-a	常勤医による週1回以上の専門外来・大学病院本院(75%以上が目標) 何%かを記載
	2)-b	常勤医による週1回以上の専門外来・臨床研修病院(50%以上が目標) 何%かを記載
4. 専門医数	1)	専門医数
	2)	学会の総医師数
	3)	大学病院に1名以上の常勤医（100%が目標）何%かを記載
	4)	臨床研修病院に1名以上の常勤医（50%以上が目標）何%かを記載
	5)	専門医が2名以上の都道府県数（47が目標）都道府県数を記載
5. 専門研修施設数・指導医数	1)	専門研修施設総数
	2)	指導医数
	3)	都道府県に研修施設があり、指導医がいる（47が目標）都道府県数を記載
	4)	同じブロックで研修体制を確立できる見込み（上記を満たさない場合）
6. 専門医制度の安定性	1)	専門医制度創設からの年数（目標10年以上）年数を記載
	2)	1回以上の資格更新者の割合（目標30%以上）何%かを記載
	3)	無試験の専門医数の割合（目標10%未満）何%かを記載
7. 専門研修整備基準	1)	専門研修施設の指定と指導
	2)	専門研修施設に偏りが無い
	3)	一定以上の症例経験が確保されている
	4)	研修の修了基準が明確
	5)	女性医師や地域枠に配慮している
8. 客観的基準に基づく専門医認定	1)	客観的な試験
	2)	認定試験の承認
9. 全体評価		全体的な評価

## 【審査基準】

・1. 専門医像と社会的使命、7. 専門研修整備基準、及び8. 客観的基準に基づく専門医認定については、審査員が各学会からの回答を読んだ上で採点を行った。

各項目に対し、「優」100点、「可」75点、「要改善」50点、「不可」0点として、その平均点を得点とした。

・2～6の客観的指標については、レビューシート備考欄記載の基準をもって、日本専門医機構事務局において機械的に採点を行った。

・9. 全体評価については、1～8の平均点を得点とした。